

事務事業評価シート(事後評価)

事業コード 05-02-01	事務事業名 高齢者地域見守り事業(ささえあいネットワーク事業)	所管部課 福祉部 高齢者支援課
-------------------	------------------------------------	-----------------------

施策コード 笑1-2	施策名 高齢者福祉の充実	施策目標 高齢者が住み慣れた地域で安心して健やかにいきいきと暮らせるまちをめざします。
---------------	-----------------	--

事務事業の概要	事務事業の目的	一人暮らし高齢者及び高齢者のみで構成されている世帯が地域の中で互いに支え合いながら、安心して生活していけるよう具合が悪くなった時などの早期発見、連絡、緊急対応ができるように地域での見守りネットワークの構築を図る。	根拠法令等 <input type="checkbox"/> 法律 <input type="checkbox"/> 条例・規則 <input type="checkbox"/> 政令・省令 <input checked="" type="checkbox"/> 要綱・要領
	事業内容・実施方法等/補助の概要	補助団体の概要(団体名・団体の活動内容・補助金の活用内容等)、補助金の概要(国・都基準の有無・対象者拡大の有無・上乗せ補助額・市単独補助額)等 ※該当する予算事業名・節目を明記する	
		(1) 地域のボランティアによる普段の生活の中での見守り活動 (2) 地域のボランティアによる月一回の訪問と週一回の外からの見守り活動 (3) メールによる見守りを行うためのささえあいパソコン講座 (4) 地域包括支援センターや民生委員などの地域住民・事業所・市が相互に連携し合う仕組みづくり 東京都高齢社会対策区市町村包括補助事業	
事業開始時期	14 年度	実施形態	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> その他 ( )

項目	単位	20年度	21年度	22年度	23年度
事業費(A)		1,871	2,624	2,239	2,457
財源内訳					
国庫支出金・都支出金		921	1,411	1,119	1,228
地方債	千円	0	0	0	0
その他( )		0	0	0	0
一般財源		950	1,213	1,120	1,229
所要人員(B)	人	0.21	0.21	0.21	0.21
人件費(C)=平均給与×(B)	千円	1,715	1,697	1,697	1,715
臨時職員賃金等(C')	千円	1,199	1,092	1,324	1,329
総コスト(D)=(A)+(C)+(C')	千円	4,785	5,413	5,260	5,501
単位当たりコスト (E)=(D)/(訪問協力員登録者数)	千円	50	39	27	0

活動等指標	単位	20年度	21年度	22年度	23年度
① 訪問協力員養成研修実施回数	実績値 回	3	3	3	2
②	実績値				
《指標の説明・数値変化の理由 など》 ささえあい訪問サービス利用者数の変動により、実施回数は増減する。					
成果指標	単位	20年度	21年度	22年度	23年度
一 訪問協力員養成研修受講者数	目標値 人	75	75	75	75
	実績値 人	102	61	62	
二 訪問協力員登録者数	目標値 人	80	175	170	230
	実績値 人	95	140	194	
《指標の説明・数値変化の理由 など》 数値は累計である。ささえあい訪問サービス利用者は、制度活用のニーズ及び普及啓発により数値の変動が生じる。					

事業環境等	市民・関連団体等の意見 (アンケート結果など)	週1回の見守りをしてくれることで孤独感がまぬがれる。安心感がある。 利用者と訪問協力員の調整が難しい。 決まったサービス内容だけでなく、もう少し柔軟に対応できるようにすれば利用しやすくなるのではないかな。
	都内26市のサービス水準との比較 (平均値、本市の順位など)	<input type="checkbox"/> 上 <input checked="" type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 下 各市同様の事業を行っているが、取組方法が異なるため一概に比較することは難しいと考える。
	代替・類似サービスの有無	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 社会福祉協議会で行っている「ふれあいのまちづくり事業」及び「ほっとするまちネットワーク事業」。ただし、高齢者限定とはしていない。

事業コード 05-02-01	事務事業名 高齢者地域見守り事業（ささえあいネットワーク事業）	所管部課 福祉部 高齢者支援課
-------------------	---------------------------------	--------------------

施策コード 笑1-2	施策名 高齢者福祉の充実	施策目標 高齢者が住み慣れた地域で安心して健やかにいきいきと暮らせるまちをめざします。
---------------	-----------------	--

【一次評価】

検証項目		ランク	一次評価	○検証項目、評価の判断理由 ○事業実施上の課題や今後改善すべき点等
A	事業の優先度 (緊急性)	3	<input type="checkbox"/> 拡充	<p>前回評価で指摘された点については、ささえあい訪問協力員の対応が同水準となるよう毎年専門の講師に依頼してフォローアップ研修を開催してきている。また、地域包括支援センターが中心となり、市民団体・民生委員との協力体制を強化し、特にささえあい訪問協力員及び民生委員とは情報共有を図りながら、効果的な連携づくりを行っている。</p> <p>ささえあいネットワーク事業は、ささえあい訪問サービスの利用者が具合が悪くなった時などの早期発見、緊急対応などを行っており、地域での見守りネットワークは欠かせないものであり、災害時要援護高齢者の見守りの社会資源としても重要性が増しており、事業の継続実施は必要と考えている。</p> <p>しかし、利用者・協力員等が少ない地域があり、更なる普及啓発により、地域差を少なくすることが課題となっているので、これまで対象としていなかった地域の団体や自治会等にも働きかけを行い、ささえあいネットワークの見守りの輪を広げていきたいと考えている。</p>
	事業の必要性	3	<input checked="" type="checkbox"/> 継続実施	
	事業主体の妥当性	2	<input type="checkbox"/> 改善・見直し	
B	直接のサービスの相手方の相手方	1	<input type="checkbox"/> 抜本的見直し	
	事業内容等の適切さ	3	<input type="checkbox"/> 休止	
	受益者負担の適切さ	3	<input type="checkbox"/> 廃止	
C	市民ニーズの把握	2	<input type="checkbox"/> 廃止	

検証項目の見方 A:事業実施の意義を検証する項目 B:事業の内容・実施方法を検証する項目 C:市民ニーズの反映度を検証する項目

【二次評価】

検証項目		ランク	二次評価	○検証項目、評価の判断理由 ○事業実施上の課題や今後改善すべき点等
A	事業の優先度 (緊急性)	2	<input type="checkbox"/> 拡充	<p>本制度にかかわる訪問協力員及び協力事業所の数が前回行政評価実施時と比較して、飛躍的に増加している状況は評価できる。しかし、本制度の利用者数が低迷している状況である。本制度は、対象を高齢者としているが、類似制度となる「ふれあいのまちづくり事業」において、協力員の重複及び対象者を幅広くしているため、事業の統合を含めて検討されたい。</p>
	事業の必要性	3	<input type="checkbox"/> 継続実施	
	事業主体の妥当性	2	<input checked="" type="checkbox"/> 改善・見直し	
B	直接のサービスの相手方の相手方	1	<input type="checkbox"/> 抜本的見直し	
	事業内容等の適切さ	2	<input type="checkbox"/> 休止	
	受益者負担の適切さ	3	<input type="checkbox"/> 廃止	
C	市民ニーズの把握	1	<input type="checkbox"/> 廃止	

検証項目の見方 A:事業実施の意義を検証する項目 B:事業の内容・実施方法を検証する項目 C:市民ニーズの反映度を検証する項目

【行革本部評価】

行革本部評価	評価の判断理由及び事業実施上の課題や今後改善すべき点等
<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 継続実施 <input checked="" type="checkbox"/> 改善・見直し <input type="checkbox"/> 抜本的見直し <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止	<p>一人暮らし高齢者および高齢者のみ世帯等に対する見守りのネットワークである本事業は、高齢化が進展していく中で、今後ますます重要性の増すものと考えられ、これまでの取組により、訪問協力員及び協力事業所が増加してきた点については高く評価できる。</p> <p>しかし、一方で、利用の低迷は続いており、類似事業として指摘されている「ふれあいのまちづくり」の一部として整理・統合（編入）することも含めて、事業のあり方を検討すべきである。</p>